

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で45 cells/mL、シャットネラ属が最高で24,500 cells/mL確認されました。

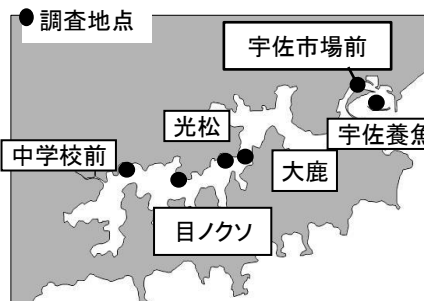
シャットネラ属による赤潮が浦ノ内湾全域で確認され、細胞数が漁業被害が想定される細胞密度を超えていますので、十分注意してください。

調査時点では、湾奥部に多くみられましたが、潮流等で広く拡大する恐れがあります。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

	水深	カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
中学校前	0.9m	45	24,500
	2m	0	1,500
目ノクソ	1m	2	1,600
光松	2m	0	90
大鹿	2m	0	250
宇佐市場前	1.5m	0	16
宇佐養魚場	1.5m	0	14



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ： 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL (魚類へい死)
- ・ディクチオカ属： 数千～cells/mL (魚類等のへい死のおそれ有り)